

職場の地震対策

平成21年6月より施行されました『防災管理』制度（対象物件：同一敷地内の建屋延床面積合計が11階以上の建屋がある場合1万㎡以上・5階以上10階以下の建屋がある場合2万㎡以上・その他5万㎡以上）により、対象となる各事業所では、消防計画書の中に『地震発生時の被害の軽減』などの対策を検討され作成をされています。弊社において、消防計画書作成のお手伝いや『防災管理点検』の実施などを通じて得た情報の中で、今回の『防災管理』制度の対象となっていない事業所におかれましても参考となる『職場の地震対策』（東京消防庁企画・編集）についてまとめました。

詳細は、東京消防庁ホームページをご参照ください

地震対策の必要性

阪神・淡路大震災では、建物が倒壊し多数の人が生き埋めになり、293件の火災が発生した。また、新潟中越地震では地震発生から10日後に営業をしている商店街の店舗は52%程度でしたが、大規模小売店舗の80%が3日後に営業を再開するなど、事業所の対応によって事業再開に差が見られた。

事業所においては、①災害を拡大することを防ぎ、社会的影響を最小限に抑える必要がある。②工場においては、大きな火気設備があり、災害の発生する危険性が高い。③事業活動の展開は、社会・経済に大きく寄与し、地域社会にも重要な役割を果たしている。などの理由により、日頃から地震対策を樹立し、災害に備えなければならない。

地震に備えての簡単なチェックポイント

●建築物・工作物の点検

- 事業所周辺の地域の危険性を把握しているか
- 建物の耐震性能について、耐震診断などを受けて理解し、適切な対策をとっているか
- 割れやすい硝子の飛散防止措置をとっているか
- 書棚などの転倒防止をしているか
- 看板・照明などしっかりと取り付けているか
- ローカ・ロビーに設置されている自動販売機やロッカーなどは転倒防止がされているか
- 扉の変形などで使用できないことを考慮し、2以上の避難ルートが確保できるか

●火気設備等の点検

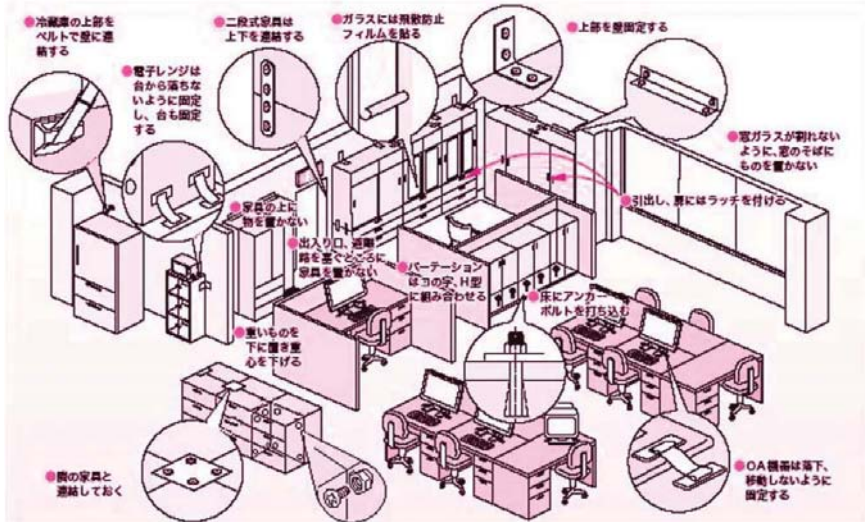
- 火気設備等の本体、燃焼容器の転倒防止はしているか
- 火気設備の周辺に燃えやすいものはないか
- 周囲からの転落・転倒はないか
- 周囲が不燃材で区画された場所など、安全な場所で使用されているか
- 火気設備の自動消火装置及び燃料の自動停止装置が付いていて、正しく作動するか。

●危険物の点検

- 揺れによって危険物があふれでることはないか
- 高架タンクの落下防止措置は完全か
- 危険物品の転倒、落下等による混合発火を防ぐ措置はしているか
- 油送管などの緩衝装置の機能はよいか

●オフィス家具類の転倒・落下防止

- ①背の高い家具を単独でおいていないか
- ②安定の悪い家具は背合わせに連結しているか
- ③壁面収納は壁・床に固定しているか
- ④2段重ね家具は上下連結しているか
- ⑤ローパーテーションは転倒しにくい『コの字型』『H型』のレイアウトになっているか
- ⑥OA機器は転倒防止しているか
- ⑦引出、扉の開き防止対策をしているか
- ⑧時計、額縁、掲示板は落下しないように固定しているか
- ⑨ガラスには飛散防止フィルムを貼っているか
- ⑩床につまずきやすい障害物や凹凸はないか
- ⑪避難通路に物を置いていないか。倒れやすいものはないか。避難出口は見やすいか。
- ⑫家具類の天板の上に物を置いていないか。
- ⑬収納物がはみ出したり、重心が高くなっていないか
- ⑭危険な収納物（薬品・可燃物等）がないか
- ⑮ガラス窓の前に倒れやすいものを置いていないか




●非常用物品として準備しておく便利なもの

種別	品名
応急手当用品	①医薬品：殺菌消毒剤、やけど薬、整腸剤等 ②救急用品：包帯、ガーゼ、三角巾、ばんそうこう、脱脂綿、はさみ、ピンセット、体温計、副木、毛布等
救出用資機材	ジャッキ、のこぎり、バール、スコップ、はしご、ロープ、鉄パイプ、チェーンソー、担架
非常用物品	懐中電灯、拡声器、ラジオ、電池、ビニール袋、ヘルメット、軍手、タオル、防水シート
生活必需品	①食料（缶詰、カンパン等）3日分×従業員数、 ②飲料水（3L/1日/1人）3日分×従業員数、 ③カセットコンロ、なべ、やかん④簡易トイレ ⑤寝具類
非常持ち出し品	重要書類等

消火器の使用法説明資料 (新入社員様研修用)

新入社員様への消火器の使用法説明の時にご使用ください



薬 剤	消 火 原 理
ABC 粉末 消火薬剤 	負触媒効果 燃焼の化学的連鎖反応を抑制する作用で、薬剤自身が微細粉末雲となって火災を包囲し、その微粒分子の一つ一つの表面に燃焼の連鎖反応をさせていくフリーラジカルを補足することによって燃焼の連鎖の一環がはずれ燃焼が中断され消火します。 窒息効果 薬剤自身が微細粉末雲となって火災を包囲することで、炎の中の酸素濃度を希釈し消火します。 冷却効果 薬剤の主成分の第一リン酸アンモニウムは、熱が加わることにより吸熱分解の化学反応を起こし、その冷却効果で消火します。

「使用上の注意点」について

- 〔1〕 消火器は初期消火をする器具です。消火範囲も限度があります。消火器での消火可能な火災の目安は、室内では、火柱が天井に届くまでです。
- 〔2〕 消火の際、火に近づき過ぎないようにしてください。消火開始時には、3m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近してください。
- 〔3〕 消火に際しては逃げ道を確保してください。室内では、出口を背にして使用してください。屋外での消火は風上より消火してください。

広告 1回目の防災管理点検は、5月末までに実施し、消防へ提出する必要がある、今後、防災管理点検の実施物件が多くなります。対象となっておりますお客様におかれては、早めのご予約をお願いいたします。



「麗姿」